

2011年5月31日
株式会社モビリティランド
鈴鹿サーキット



2011 FIA 世界ツーリングカー選手権シリーズ 日本ラウンド WTCC KENWOOD Race of Japan

10/22 SAT. 23 SUN.

会場：鈴鹿サーキット国際レーシングコース(東コース 2.243km)
同日開催：スーパー耐久シリーズ2011 鈴鹿300km(フルコース 5.807km)

**接触も覚悟の激しいバトルで東コース全域がオーバーテイクポイントに！
格闘技レース「WTCC日本ラウンド」鈴鹿サーキット東コースで初開催！**



※写真はイメージです

F1、FIA GT1、そしてラリーのWRCと並ぶ四大FIA世界選手権のひとつ、WTCC(世界ツーリングカー選手権)の日本ラウンド。2011年は岡山国際サーキットから舞台を移し、初めて鈴鹿サーキットで開催することとなった。

WTCCは「格闘技レース」という異名を持つとおり、激しいバトルが最大の特徴だ。どこでも隙あればノーズをねじ込んで、少々の接触も覚悟の上。それがスタートからゴールまで、ずっと続く。そういったバトルシーンを、数多く味わってもらおうと、鈴鹿サーキットでは東コースを舞台とされることになった。

メインストレートではスリップストリームが効き、その先の1コーナーでは、ギリギリのブレーキング合戦が繰り広げられるだろう。特にスタート直後は、数台が横に並ぶ先陣争いが披露されるはず。その後、少しでもインを開けようものなら、2コーナーで刺されることは必至だ。

S字コーナーから逆バンクまでのテクニカルセッションでもWTCCならオーバーテイクが可能だ。縁石をまたいで片輪が跳ねようが、彼らは行く時は行く。最終コーナーとなる東コースショートカットは立ち上がりりがブラインド。一瞬でも躊躇があったり、少しでもラインを乱したりすれば、即チャージを食らう羽目となるだろうし、仮に抜かれなくても脱出速度が鈍れば、ストレートで餌食になる。

つまり、WTCCにおいては東コース全域がオーバーテイクポイントになる、そういっても過言ではないだろう。そんな迫りに満ちた光景が23周に渡って繰り広げられるのだから、まさしく息つく暇など与えてくれないだろう。なお、第1レースはローリングスタート、第2レースはスタンディングスタートで開始されるから、その違いがどう展開に影響を及ぼすかも、じっくり見極めて欲しい。

普段は街を走る量産車で争われる30分のスプリントバトル。 第2レースのリバースグリッドはより多くのバトルを生み出す！

世界選手権としてヨーロッパだけでなく、南米やアジアを含めた12カ国を股にかけるWTCCは、すべて約50km、およそ30分間のスプリント。1大会2レース制となっており、シリーズは全24戦で争われる。

使用車両は、連続した12か月で2500台以上生産された4座席以上の量産車で、四輪駆動は禁止。現在はシボレー、BMW、セアト、ボルボの4メーカーが挑んでいる。搭載されるエンジンは、これまで2000ccのガソリンエンジン、2000ccのディーゼル・ターボエンジンだったが、2011年からは1600ccのガソリン・ターボエンジンも使用が可能になった。

重量面では15～30kgほど有利な2000ccガソリンエンジンながら、1600ccガソリン・ターボエンジンの方がパワフルで、その差は20～30馬力にも及ぶとも。そのため、予想より遥かにニューマシンの移行が早く進むことになった。



※写真はイメージです

WTCCには名物ともいえるリバースグリッドシステムが存在し、これにより激しいバトルが勃発するとともに、多くのドライバーに優勝機会を与えもする。2011年のリバースグリッドシステムは、2回行われる予選のうち、1回目の上位10台を第2レースのリバースグリッドに。2回目はその上位10台のみで第1レースのPP（ポール・ポジション）争いをする。1回目の11位以下にとっては、もはや2レースともそのままの順位からスタートするため、厳しい戦いを強いられることになる。そうならないためにも予選1回目からタイムアタックは加熱を極めることだろう。



2010年の日本ラウンドでインディペンデントトロフィー優勝を飾った谷口行規(中央)

また、非メーカー系のチーム、ドライバーに対し、YOKOHAMAトロフィーが設けられ、プライベート同士での戦いも熱く繰り広げられている。従来のインディペンデントトロフィーが11年より改称。昨年の日本ラウンドで、谷口行規が優勝を飾ったことはまだ記憶に新しく、もうひとつの戦いにも注目したい。

元F1ドライバーのガブリエル・タルキーニ 1999年フォーミュラ・ニッポンチャンピオンのトム・コロネル そして日本人初の年間エントリーを果たした谷口行規にも注目！

WTCCに参戦するのはツーリングカーのスペシャリスト、しかもベテランが多いのも特徴のひとつ。長年のレース経験は、レース距離が短いから体力的なハンデを上回り、ドライビングの妙や巧みな駆け引きで、若手を翻弄することが多い。元F1ドライバーのガブリエル・タルキーニは48歳ながら、2009年にチャンピオンを獲得。走りはまさにいぶし銀だ。かつて全日本F3やフォーミュラ・ニッポンでチャンピオンを獲得するなど、日本のレースで活躍したトム・コロネルも当時と変わらぬ熱い走りを披露してくれる。彼らベテランドライバーに挑むのが16歳のペペ・オリオラ。開幕から堂々の走りを見せたオリオラ。日本ラウンドではさらに磨きがかかり、上位に顔を出してくる事が期待される。

また日本人ドライバーにも注目だ。谷口行規が日本人ドライバーとして初めて年間エントリーを行っており、地元鈴鹿での活躍が期待される。

その他にもオフィシャルタイヤサプライヤーである横浜ゴムが、SUPER GTやスーパー耐久で活躍する、エース格の日本人ドライバーを送り込んでくる事も予想されている。



ガブリエル・タルキーニ



トム・コロネル



谷口行規

WTCCとスーパー耐久が同日開催！ 見どころ満載のスーパー耐久も見逃すな！！



2010年 スーパー耐久 鈴鹿500kmスタートシーン

WTCCと同日開催されるのが、多彩な車種が参戦し、毎回激しいバトルを見せるスーパー耐久だ。舞台はWTCCの東コースとは異なり、フルコースが用いられる。

今シーズン新設されたST-Xクラスは今大会では開催されず、事実上の総合優勝争いとなるのは3500cc以上のマシンによって争われるST-1クラスだ。昨年までの最強マシンBMW Z4Mクーペの参戦が2台から4台へと増え、激しいトップ争いとなる事が予想されるとともに、マシンの差がなくなったことにより、ドライバーやチームの実力が、他のクラス以上に試されることになる。

3500cc以下の四駆によって争われるST-2クラスは、近年ランサーエボリューションの新旧対決ばかりが目立っていたが、新旧インプレッサも肩を並べ、戦いがより加熱することとなった。国際ラリーで活躍する新井敏弘が、インプレッサGDBを走らせるのも話題のひとつ。「世界のアライ」があ

えて旧型で挑むあたり、そこには何か期するものがあるはずだ。

ST-3クラスは3500cc以下の二駆によって争われ、車種のバラエティには最も富んでいる。新旧フェアレディZ、RX-7、そしてNSXがしのぎを削る中、新たに戦いに加わったのはIS350。太いトルクは鈴鹿サーキットでは絶対に武器になる。五大対決が大いに見ものだ。

2000cc以下の車両によって争われるST-4クラスは、Honda車の独壇場。しかしながら、インテグラとS2000、シビックもFD2とFN2の両方が投じられている。それぞれ個性に満ちており、コースやコンディションの違いで有利・不利がはっきり分かれる。ここ鈴鹿サーキットでは、どのHonda車が強さを見せるのか注目だ。

2シーズン目のST-5クラスは、1500cc以下の車両が対象。今シーズンはヴィッツRSに加えフィットRSも戦列に加わって戦いの様相がますます色濃くなった。フィット初優勝の場が、鈴鹿サーキットである可能性も小さくはなさそうだ。

なお、レースは300kmで争われ、途中2回のピットストップが義務づけられている。テンポ良くレースが進むのは間違いなく、耐久レースということを忘れさせるほど、きっと刺激的な戦いになるに違いない。



ST-1クラスのBMW Z4Mクーペ

WTCC開催概要

- 大会名称 : 2011 FIA 世界ツーリングカー選手権シリーズ 日本ラウンド
WTCC KENWOOD Race of Japan
- 主催 : 【プロモーター】株式会社モビリティランド
【オーガナイザー】鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA) / 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 場所 : 鈴鹿サーキット国際レーシングコース 東コース(1周:2.243km)

スーパー耐久開催概要

- 大会名称 : スーパー耐久シリーズ2011 鈴鹿300km
- 主催 : 名古屋レーシングクラブ(NRC) / 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) / 株式会社モビリティランド
- 公認 : 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 場所 : 鈴鹿サーキット国際レーシングコース フルコース(1周:5.807km)

WTCCの情報は鈴鹿サーキットホームページをチェック！！

<http://www.suzukacircuit.jp/>

各ラウンドのハイライト、日本ラウンドの見どころ、観戦ポイント、参戦チーム&ドライバー紹介、エントリーリスト、イベント情報、さらにはレースアナウンサーのピエール北川氏による「ピエール北川のWTCCなるほど！コラム」など、鈴鹿サーキットホームページにはWTCCの情報がいっぱい！各ラウンドが終わったらホームページをチェックして、WTCCを思う存分楽しもう！



■WTCC各ラウンドの動画を公開！



世界各国で行われる格闘技レース「WTCC」。このレースの真の迫力を感じるにはサーキットでしか見るに限るが、日本ラウンドまでのハイライト映像が鈴鹿サーキットのホームページで公開されるので、これを見てその迫力を感じよう！

■谷口行規選手のインタビューを公開！



今シーズン、WTCCに年間エントリーしている谷口行規選手のインタビューをホームページで公開中！

6月4日(土) チケット発売開始!

前売観戦券はゆうえんちモトピアパスポート(土曜日・日曜日いずれか1日)付き!
ご家族みなんでお得に観戦!「ファミ得チケット」
お友達を誘って観戦しよう! グループチケットで最大20%オフ!

[価格はすべて税込]

■前売券

観戦券(2日間有効)※10月21日(金)も入場可	
大人	中・高校生
ゆうえんちモトピアパスポート1日付	入場のみ
5,000円	1,600円

グループチケット(2日間有効)※10月21日(金)も入場可		
ゆうえんちモトピアパスポート1日付		
3名	4名	5名
13,500円	17,000円	20,000円

指定席券(日曜日のみ有効)※別途観戦券が必要です	
V2席(3歳以上共通)	V1エリア(3歳以上共通)
2,000円	1,000円

ファミリーでお得に観戦! ファミ得チケット(MOBILITY STATIONのみで限定販売!)

ファミ得チケット(2日間有効) ※10月21日(金)も入場可	観戦券セット	V2指定席セット (指定席は日曜日のみ有効)
	ゆうえんちモトピアパスポート1日付	
大人2人+子ども1人(3歳~高校生)	11,400円	16,200円
大人2人+子ども2人(3歳~高校生)	13,600円	20,000円

■当日券

	観戦券		指定席券※別途観戦券が必要です	
	大人	中・高校生	V2席(3歳以上共通)	V1エリア(3歳以上共通)
10月22日(土) 予選日	ゆうえんち入園料(1,600円)		—	—
10月23日(日) 決勝日	6,000円	1,600円	2,500円	1,500円

※ファミ得チケットはMOBILITY STATIONのみの限定販売となります。

※3歳~高校生以下の方の当日券はゆうえんち入園料となります。中高校生/1,600円・小学生/800円・3歳~未就学児/600円

※観戦券(一部券種を除く)にセットされているパスポート(レース開催日いずれか1日有効)は「ゆうえんちのりもの乗り放題モトピアパスポート」となります。

※指定席券・エリア券は決勝日のみ有効です。

※V1エリアに席番の指定はありません。

※自由席・指定席の一部には、団体専用席、メーカー・チーム応援専用席、シーズンシートがあらかじめ区画されている場合がありますのでご了承ください。

※前売指定席券完売の場合、当日指定席券は、販売いたしません。お早めにお求めください。

※V1エリアのご入場には、V2指定席券をお持ちの方および高校生以下の方もV1エリア券が必要となります。

「ドラゴンゲートファン感謝の集い」セット観戦券を発売！

[価格はすべて税込]



「ドラゴンゲートファン感謝の集い」セット観戦券発売が決定しました。
「ドラゴンゲート」は幅広い層に人気の、神戸に本拠地を置くプロレス団体で、WTCCでは「格闘技レース」のコンセプトのもと、10月23日(日)の決勝日には、GPスクエアにてプロレスパフォーマンスイベントを実施。また、当日の夜には、選手と共にbuffスタイルの食事を楽しみながら、サインや記念撮影等の懇親会を中心とした、ドラゴンゲート所属選手とファンを結ぶ「ドラゴンゲートファン感謝の集い」を、鈴鹿サーキット内S-PLAZA 2階サクラホールにて開催いたします。

「ドラゴンゲートファン感謝の集い」セット観戦券 (観戦券は2日間有効 ※10月21日(金)も入場可)
3歳以上共通
9,800円

「ドラゴンゲートファン感謝の集い」開催概要

開催日：10月23日(日) 19:00～

定員：150名 (定員となり次第発売終了となります)

会場：鈴鹿サーキット内 S-PLAZA2階サクラホール

購入方法：MOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト)、およびドラゴンゲート各大会会場

※参加選手につきましては、確定次第、鈴鹿サーキットホームページに掲載いたします。

ドラゴンゲート関連イベントを開催！

GPスクエアで特別試合を開催！



※写真はイメージです

GPスクエアにリングが登場！10月23日(日)にドラゴンゲートの選手によるプロレスパフォーマンスを開催いたします。「格闘技レース」WTCCの観戦と併せて、ドラゴンゲートの試合も見よう！

※特別試合の開催時間、登場選手などの詳細は決まり次第鈴鹿サーキットホームページに掲載いたします。



※写真はイメージです

ドラゴンゲート選手お勧めメニューを販売！（予定）

大会期間中は、園内ファストフード店舗で「ドラゴンゲート選手おすすめコラボメニュー」を販売いたします。

■パドックパス(2日間有効・別途観戦券必要)

[価格はすべて税込]

有名選手に会えるかも!?ピット裏のパドックライフを楽しもう!

土曜日、日曜日のピットウォークに参加でき、さらには第1コーナー、第2コーナー、S字、東コースショートカットイン側に設けられた激感エリアにも入場できる!

パドックパス ＜大人(中学生以上)＞	パドックパスJr ＜子ども(3歳～小学生)＞
10,000円	1,500円

※パドックパスのご購入には観戦券が別途必要です。

※ホスピタリティラウンジ(ピットビル2階)およびホスピタリティテラス(ピットビル3階)にはご入場いただけません。

※V1エリアにはご入場いただけません。

※前売りパドックパス完売の場合、当日パドックパスは販売いたしません。



第2コーナー激感エリアの様子

★ご入場エリア

・パドック ・ピットウォーク ・激感エリア

★特典

鈴鹿サーキットロゴ入りストラップがセットになった特製プラスチックパドックパスを限定販売します。

●パドックパスのカードフェイスは、公式ポスターをイメージしたデザイン。

●鈴鹿サーキットオリジナルストラップ(非売品)つき。

●パドックパスにはシリアルナンバーがついています。

※前売りにてご購入の方には、必ず特製カード型パドックパスをお渡します。

※パドックパスJrは特製カード型パドックパスではありません。

■ピットウォーク券

レーシングマシンをもっと間近でみたい!マシンやドライバーを撮影したい!お昼のインターバルに実施するピットウォークにぜひご参加ください。小学生以下のお子様は無料でご参加いただけます。

	ピットウォーク券 別途観戦券必要	
	大人(中学生以上)	子ども
10月22日(土)予選日	2,000円	無料
10月23日(日)決勝日	2,000円	



※写真はイメージです

※ピットウォーク時に、脚立のお持込はご遠慮ください。

■～プライベートな空間でレース観戦～ パノラマルーム ※別途観戦券が必要です

パノラマルームはグランドスタンド最上段のプライベート空間。冷暖房完備の個室で、周囲を気にせずゆったりとご観戦いただけます。サーキットビジョンを見ながらの観戦やコースを回る観戦のベースキャンプにも、またお子様連れのご家族にもおすすめです。

パノラマルーム(1室料金) 4名様(プラスお子様2名様)まで利用可 30,000円

★ご観戦エリア パノラマルーム(グランドスタンド最上段のプライベート空間)

★設備内容 ●モニター×1台(26インチ液晶) ※レース映像のみ受信

●テーブル×1台 ・イス×6脚 ●冷暖房完備 ●居室面積9.9㎡(全室禁煙)

★特典 ピットウォーク券付き



■VIPスイート・プレミアム<大人・子ども(3歳以上)共通> (2日間有効/観戦券・V1エリア入場券込)

ゆったり観戦できる屋内と迫力を堪能できる屋根付き屋外スペースが用意されています。 [価格はすべて税込]

VIPスイート・プレミアム
ゆうえんちモトピアパスポート付
34,000円

ご観戦エリア

- ・VIPスイート(4階・5階) ※全席指定席
- ・VIPテラス(3階) ※自由席
- ・ホスピタリティラウンジ(ピットビル2階)
- ・ホスピタリティテラス(ピットビル3階)



VIPスイート・プレミアムご購入のお客様全員がご参加いただけるイベントを開催!

- ・国際レーシングコース バスクルージング (10月23日(日)開催イベント)
- ・グリッドウォーク
(10月23日(日)スーパー耐久決勝レース・WTCC決勝レース)

当日抽選で当たる!! サービスロードツアー体験(10月22日(土)スーパー耐久時開催イベント)

VIPスイート・プレミアムご購入のお客様の中から(5名様×2回)抽選でサービスロードツアーにご招待!
※当選者の発表は10月22日(土)VIPスイート室内にて掲示させていただきます。

特典

- スペシャルランチボックス (決勝日 10月23日(日)のみ)
- フリードリンク2日間(ソフトドリンク・ビール)
- 駐車券(専用駐車エリア)
- 大会公式プログラム
- ピットウォーク(2日間対象)
- パドック入場可(2日間対象)
- ホスピタリティラウンジ入場可
- ホスピタリティテラス入場可
- VIPテラス入場可
- 激感エリア入場可
- V1エリア入場可
- バスクルージング
- グリッドウォーク(スーパー耐久決勝レース、WTCC決勝レース)
- 記念品
- レースリザルトサービス(ブース内設置)

※特典の駐車券は駐車エリアにご入場いただく際、VIPスイートパスとあわせてご提示が必要になります。

※3歳以上有料(飲料、食事など特典内容は大人同様となります。)

※レース観戦券に付随のゆうえんちパスポートはレース開催日(土・日)のいずれか1日有効となります。

※駐車券は1名様~4名様までのお申込につき、1台分となります。尚、駐車エリアはVIPスイートになるべく近い場所をご用意しております。ゆうえんち側駐車場とは異なりますので予めご了承ください。

※ホスピタリティラウンジでのお食事対応はいたしておりません。

※VIPスイート・プレミアムは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※お申し込み後のキャンセルは一切できません。

※VIPテラスの販売はいたしておりません。VIPテラスはVIPスイートのお客様のご利用エリアとなります。

※VIPスイート(4階・5階)への飲食物のお持込みはご遠慮ください。

■ホスピタリティラウンジ(2日間有効/観戦券・V1エリア入場券込)

[価格はすべて税込]

ピットレーンに張り出した屋外観戦席も楽しめる。快適で迫りに満ちた観戦をご提供いたします。

ホスピタリティラウンジ	ファミリーラウンジ (中学生以上)	ファミリーラウンジJr. (3歳～小学生以下)
ゆうえんちモートピアパスポート付	ゆうえんちモートピアパスポート付	入場のみ
29,500円	29,500円	8,000円

※ファミリーラウンジはご家族でご観戦のお客様皆様の共有ラウンジです。ご家族単位でのお部屋ではございません。なお大人のお客様だけのご利用は出来ません。

ご観戦エリア

- ・ホスピタリティラウンジ(ピットビル2階)

ホスピタリティラウンジご購入のお客様全員がご参加いただけるイベントを開催!

- ・国際レーシングコース バスクルージング (10月23日(日)開催イベント)



当日抽選で当たる!! サービスロードツアー体験(10月22日(土)スーパー耐久時開催イベント)

ホスピタリティラウンジご購入のお客様の中から(5名様×2回)抽選でサービスロードツアーにご招待!

※当選者の発表は10月22日(土)ホスピタリティラウンジにて掲示させていただきます。

★特典

- スペシャルランチボックス(決勝日 10月23日(日)のみ)
- フリードリンク(2日間対象)(ソフトドリンク・ビール)
- 駐車券(専用駐車エリア)※Jrにはつきません
- 大会公式プログラム※Jrにはつきません
- Jr.パスはコチラレーシングパスケース付
- ホスピタリティテラス入場可(2日間対象)
- パドック入場可(2日間対象)
- ピットウォーク(2日間対象)
- 激感エリア入場可
- V1エリア入場可
- バスクルージング
- レースリザルトサービス(ブース内設置)

※特典の駐車券は駐車エリアにご入場いただく際、ホスピタリティラウンジパスとあわせてご提示が必要になります。

※ホスピタリティラウンジは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※レース観戦券に付随のゆうえんちパスポートはレース開催日(土・日)のいずれか1日有効となります。

※お申し込み後のキャンセルは一切できません。

※子ども料金には専用エリア駐車券、大会公式プログラム・ゆうえんちモートピアパスポートは付きません。

※室内へ飲食物のお持ち込みは出来ませんので予めご了承ください。

※屋外観戦席は各お部屋前が指定エリアとなります。ご自身のお部屋の前以外での屋外観戦は出来ません。

※貸切でのご利用やイベント利用等でご利用いただけないエリアがある場合がございますので、予めご了承ください。

ファミリーラウンジはお子様向け特典がいっぱい!

■コチラファミリー グリーティング

決勝日の10月23日(日)、ホスピタリティラウンジ(ファミリーラウンジ)にコチラファミリーが来場! 握手したり、一緒に写真を撮ったり、みんなで一緒に遊ぼう!

■Jr.パスはコチラレーシングパスケース付!

コチラレーシングのロゴ入りオリジナルパスケースでみんなに自慢しちゃおう!

[価格はすべて税込]

■ホスピタリティテラス(2日間有効/観戦券・V1エリア入場券込)

ピットビル3階からご観戦いただけるホスピタリティテラスは、自然光を活かし、開放的な空間とするために壁を設置せずに、コースが見渡せる場所となります。2階席のホスピタリティラウンジ同様にテラス席をご用意しております。

ホスピタリティテラス (中学生以上)	ホスピタリティテラスJr. (3歳～小学生以下)
ゆうえんちモトピアパスポート1日付	入場のみ
18,000円	2,800円

★ご観戦エリア

・ホスピタリティテラス(ピットビル3階)

★特典

- レース観戦券込パス(ゆうえんちモトピアパスポート1日付)※Jrにはつきません
- パドック入場可(2日間対象)
- ピットウォーク(2日間対象)
- 激感エリア入場可
- V1エリア入場可
- Jr.パスはコチラレーシングパスケース付
- レースリザルトサービス(ブース内設置)



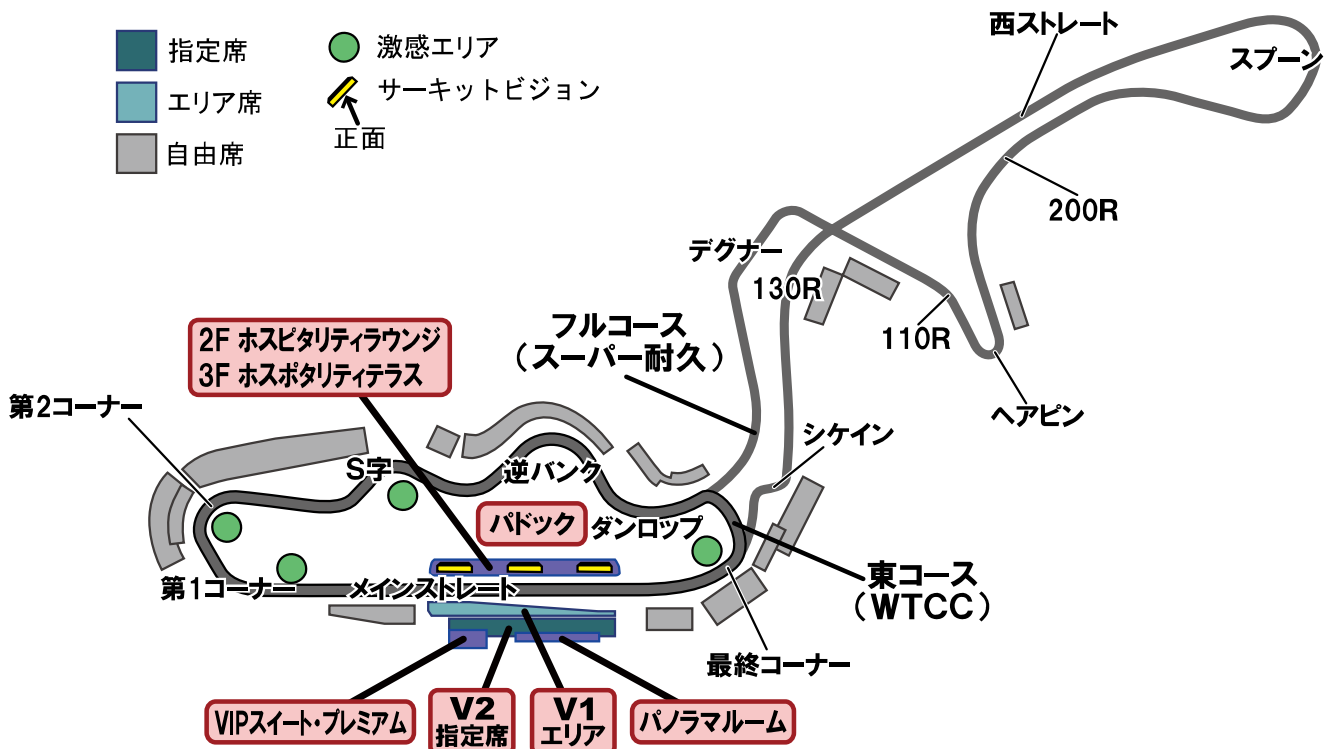
※ホスピタリティテラスは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※レース観戦券に付随のゆうえんちパスポートはレース開催日(土・日)のいずれか1日有効となります。

※お申し込み後のキャンセルは一切できません。

※貸切でのご利用やイベント利用等でご利用いただけないエリアがある場合がございますので、予めご了承ください。

観戦席マップ



鈴鹿、もてぎのチケット・グッズが同時に買えるオンラインショップ
詳しくは <http://mls.mobilityland.co.jp/> にアクセス！

MOBILITY STATION

チケットのお求めは	券種によってお取り扱いのない窓口もございます
■オンラインショッピングサイト(MOBILITY STATION) P C http://mls.mobilityland.co.jp モバイル http://mls.mobilityland.co.jp/mobile/ (鈴鹿サーキット オンラインショッピングサイト)	6月4日(土)～10月16日(日)まで 24時間販売
■お電話による通信販売 ☎059-378-1100<通信販売専用電話> (鈴鹿サーキットモビリティステーション)	6月4日(土)～10月16日(日)(10:00～16:00) ※6月14日(火)～16日(木)は休業
■窓口での販売 (鈴鹿サーキットモビリティステーション)	6月4日(土)～10月16日(日)(10:00～17:00) ※6月14日(火)～16日(木)は休業
■プレイガイド・コンビニエンスストア 販売期間:6月4日(土)～10月22日(土) ※一部販売期間が異なる店舗がございます ●ローソンチケット ●イープラス ●電子チケットぴあ ●ツインリンクもてぎチケットセンター ●ローソン ●セブン-イレブン ●ファミリーマート ●サークルK・サンクス ※コンビニには時間帯に制約があります。 ※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。 ※V2指定席、V1エリア、ホスピタリティテラス、パドックパスは、ローソン・ローソンチケットのみでの取り扱いとなります。 鈴鹿サーキット プロモーションパートナー LAWSON	

チケットに関するお問い合わせ：鈴鹿サーキットモビリティステーション ☎059-378-1111(代)